

佐倉市子ども・子育て支援事業計画(素案)の 第2章及び第4章の修正について

資料4

令和元年11月15日(金)
第3回子育て支援推進委員会

■第2章 子どもと子育ての現状

<概要>

佐倉市の人口の推移など、統計資料により子育て支援に関する佐倉市の現状と課題を分析します。

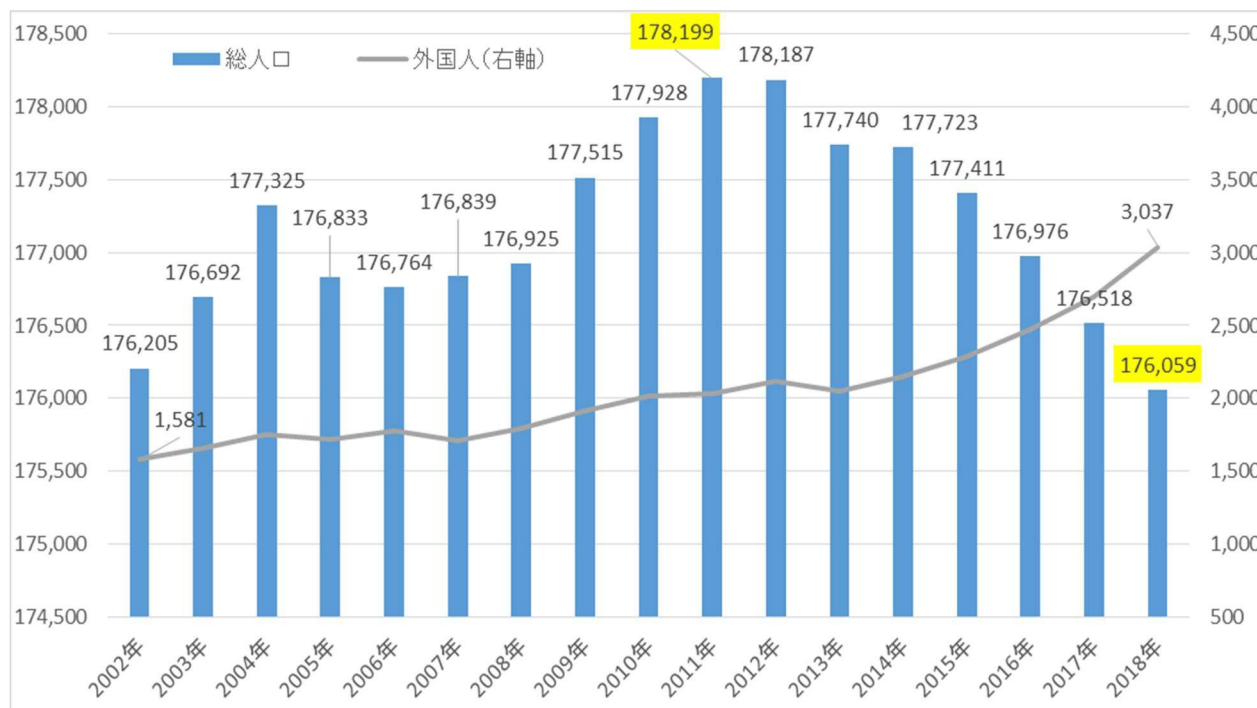
<修正の内容>

第2章「1 総人口と世帯数の推移」に掲載の図については、国勢調査による人口をもとに作成していましたが、住民基本台帳人口に基づくものに変更します。第5次佐倉市総合計画等、市が同時期に策定する計画において、統計資料には住民基本台帳のデータを使用していることから、統一いたします。

1 総人口と世帯等の推移

(1) 佐倉市の人口の推移

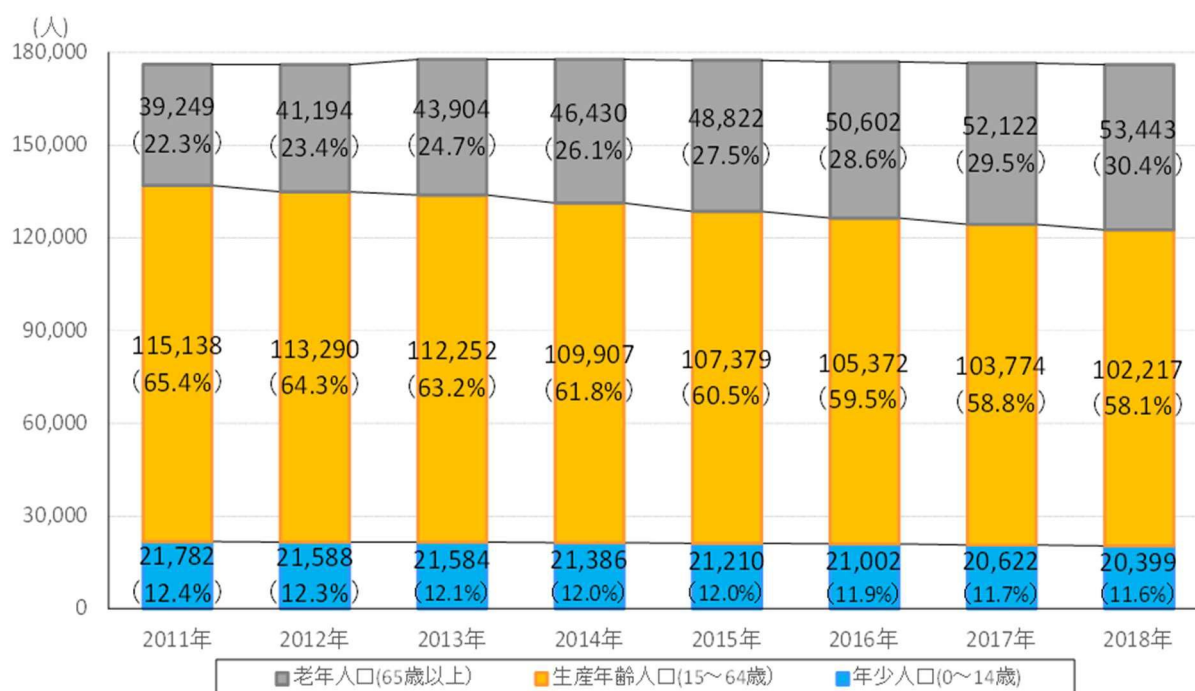
○平成23(2011)年の約17万8千人をピークに減少傾向となっており、平成30(2018)年現在で約17万6千人となっています。一方、外国人は増加傾向にあります。



（２）年齢別（３区分）人口割合の推移

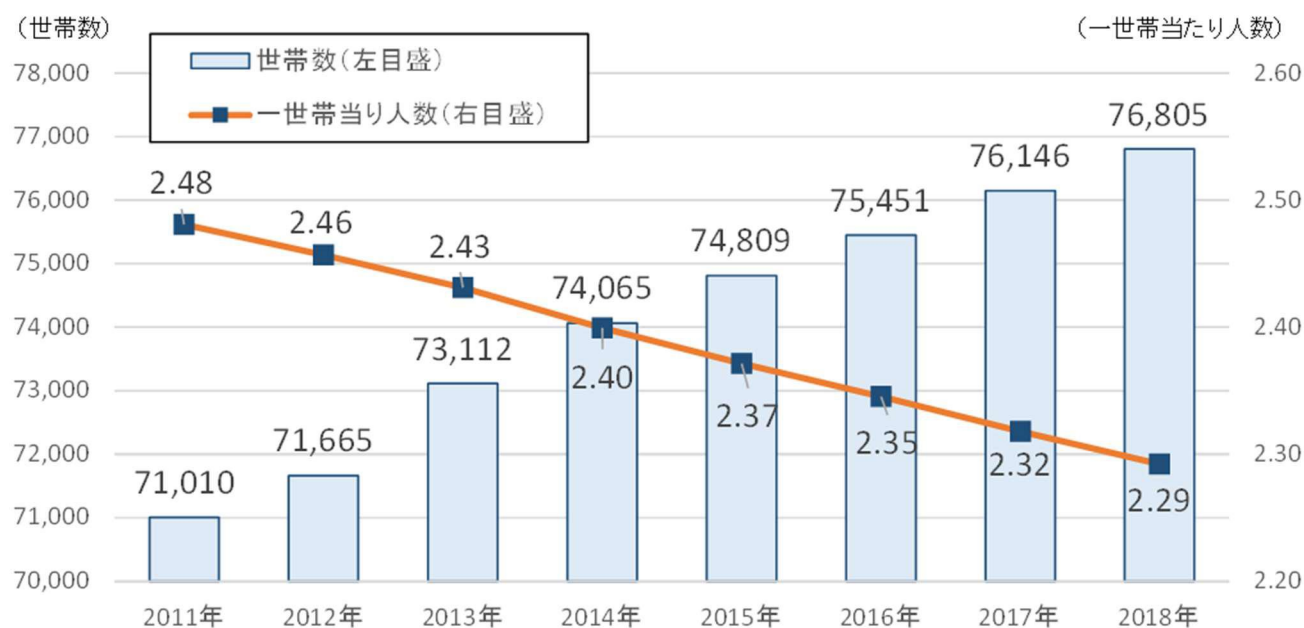
○老年人口が増加し、年少人口及び生産年齢人口が減少しています。

○2018年度末には、高齢化率（＝老年人口÷総人口）が30%を超えています。



（３）世帯数及び1世帯あたり人員の推移

○人口が減少している一方で、世帯数は増加しており、一世帯当たりの人数は減少しています。



■第4章 子ども・子育て支援施策

<概要>

幼稚園や保育園等の施設の必要量や、その他の子育て支援サービスの必要量を見込み、令和2年度から令和6年度までの確保計画を作成します。

幼稚園・保育園等の必要量の見込みと確保方策については、市内を5区域に分けて作成しています。保育園の新設や、幼稚園の認定こども園への移行により保育定員を確保し、各区域内で待機児童を解消する計画としています。

<修正の内容>

下記の保育施設整備計画の数値が、各区域・各年齢の量の見込みと確保量に正しく反映されていなかったため、別紙の正誤表のとおり訂正いたしました。

保育施設の整備による保育定員の確保計画

<令和2年> 保育定員 157人増加

- ◇佐倉区域 : 幼稚園から認定こども園へ移行2園
120人(1~2歳30人、3~5歳90人)
- ◇根郷・和田・弥富区域: 小規模保育事業所開園1園
19人(0歳3人、1~2歳16人)
- ◇臼井・千代田区域 : 事業所内保育事業所1園、一時預かり事業(幼稚園型Ⅱ)定員増8人(1~2歳8人)
- ◇志津北部区域 : 保育園から認定こども園へ移行1園
80人→90人(0歳3→6人、1~2歳24→33人、3~5歳53→51人)

<令和3年> 保育定員 125人増加

- ◇根郷・和田・弥富区域: 保育園新規開園1園
60人(0歳6人、1~2歳21人、3~5歳33人)
- ◇臼井・千代田区域 : 保育園の定員増1園
90→95人(1~2歳3人、3~5歳2人)
- ◇志津北部区域 : 保育園新規開園1園
60人(0歳6人、1~2歳21人、3~5歳33人)

<令和4年> 保育定員 151人増加

- ◇臼井・千代田区域 : 小規模保育事業所1園
18人(0歳6人、1~2歳12人)
- ◇志津北部区域 : 小規模保育事業所2園
37人(0歳9人、1~2歳28人)
- ◇志津南部区域 : 幼稚園から認定こども園へ移行1園
96人(0歳6人、1~2歳30人、3~5歳60人)